

たけぐみだより

平成29年11月29日
中央区立久松幼稚園
たけ組担任 吉本 千尋

『番ねずみのヤカちゃん』の劇に決まりました♪

10月末においもパーティーを終えると、達成感を味わった子どもたちからこんな声が聞かれました。「おいもパーティー大成功だったね!」「みんなが喜んでくれてうれしかった!」「なんかまたみんなで楽しいことがしたい!」「次はわくわく発表会があるんじゃない?!」…。なかよし運動会や周年記念式典、おいもパーティーなどみんなで力を出してやり遂げた経験があるからこそ、自分たちで次の目標を見付け、取り組んでいこうとする姿なのだと感じ、子どもたちの成長にうれしくなりました。

さて、そうと決まればお話決めです。「何の劇をやろうか?」と子どもたちに投げかけると、「番ねずみのヤカちゃんがいいよ!」「わんぱくだんの絵本も好きだなあ」「そういえば前の年長さん、わんぱくだんをやっていておもしろかったよね!」「僕はもりのへなそうるの絵本も好き」「私も好き!でもそれだとあんまり役がないんじゃない?」好きな絵本を挙げ、劇にするなら…と子どもたちなりに考えていました。そして、ヤカちゃんが大きな声で返事をする場面や、泥棒の場面がお気に入りの『番ねずみのヤカちゃん』のお話に決まりました。



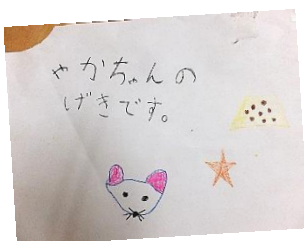
たけ組オリジナルストーリーへ

いろいろな役をやってみながら表現を楽しむ中で、子どもたちから具体的なイメージが出てきました。絵本の中ではヤカちゃん以外の兄弟の名前は書かれていないのですが、「兄弟にも名前があったらいいんじゃない?」「速足(はやあし)のねずみでハシちゃんはどう?」「いいね!にこにこのニコちゃんは?」と、兄弟の名前も決めて役に愛着をもっています。

また、原作のストーリーでは、ねずみを捕まえられなかったねこをペットショップに返してしまうのですが、「ペットショップに返したらちょっとかわいそう」「ペットショップに返すのはやめよう!」と、ストーリーを子どもたちの考えに合わせて変えていきました。

今は、役のセリフや動きを考えて楽しい劇になるよう相談しているところです。学芸会リハーサル鑑賞が刺激となり、小学生のしていたことを取り入れようとしていたり、必要な大道具を考えたりしています。また、友達の表現や考えのいいところに気付き、認め合う姿が見られています。

わくわく発表会という共通の課題に向かって、みんなと協力して進め、自分の力を発揮する達成感を味わえるように援助していきたいと思います。



ペープサートを作り、
友達とヤカちゃんの
劇ごっこ♪